

事業評価報告書

1 地域課題の名称

屋敷林の実態調査と剪定枝(落葉)処理システムの確立

2 市町村名及び評価部局課名

砺波市農地林務課

3 課題の概要

(1) 戸数及び本数調査

市内全域において、屋敷林を所有する家の戸数と、その本数を把握し、平成15年度の調査結果と比較しながら、戸数及び本数の増減、要因を明らかにする。

(2) 外観調査

市内のモデル地域をいくつか選定し、過去(昭和～平成初期、平成15年度)に行われた調査による記録写真と比較しながら、景観の変化、その要因を明らかにする。

(3) 落葉調査

1年間を通して落葉量を調査し、「砺波型」の剪定枝及び落葉の回収と処理システムを確立する。

4 解決策の提言に対する評価(観点及び分析等について、具体的に記載願います。)

課題の(1)及び(2)の屋敷林の戸数や外観の調査については、協力先の調整が図られず、実施できなかった。

課題(3)の落葉調査については、1軒あたり1年間に約1トンの落葉があり、そのバイオマスエネルギーとして灯油換算すると、500リットル相当であることが明らかになった。

この資源が現在は「ごみ」として廃棄されていることは、市域全体で損失であると指摘されており、貴重なデータを収集されたと評価する。

このバイオマスエネルギーを実際に活用する場合には、誰が運搬収集し、誰が加工し、どこで利活用するかという具体的な受け入れ先が必要であり、それについては今後引き続き検討していきたい。